

「市長と語る意見交換会」

～西尾市方式 PFI 事業について～

会議録

日時：平成 29 年 11 月 30 日（木）

午後 6 時 30 分から

場所：寺津ふれあいセンター [多目的ホール]

意見交換会日程

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 PFI 事業の現状について
- 4 意見交換会（前半）
- 5 休憩
- 6 意見交換会（後半）
- 7 閉会

○出席者

市関係者 中村市長、近藤企画部長
PFI 事業検証室：齋藤企画部次長（室長）、築瀬主幹、原田主幹ほか 6 名

一般参加者 124 人

平成 29 年度「市長と語る意見交換会～西尾市方式 PFI 事業について～」(寺津地区)

○司会

皆さま、こんばんは。私は、意見交換会の事務局を務めます企画政策課 PFI 事業検証室事業計画担当主幹の原田でございます。よろしくお願いいたします。それでは、ただいまから「市長と語る意見交換会～西尾市方式 PFI について～」寺津地区を開会いたします。はじめに本日の出席者をご紹介します。正面中央の中村市長を始め、皆様から向かって右へ、企画部長、左へ企画政策課 PFI 事業検証室職員が出席しております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の「市長と語る意見交換会」の開催目的は、この意見交換会で市民の皆様の PFI 事業についての率直な意見をお聞かせいただき、今後の事業の見直しの参考にさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

つきまして受付で配布しました資料の確認と、本日の予定をご案内させていただきます。配布資料は「市長と語る意見交換会～西尾市方式 PFI 事業～」になります。そして一緒に配布させていただきました、市長と語る意見交換会についてのアンケートと筆記用具でございます。不足している方はこちらの事務局の方に申し出てください。

よろしいでしょうか、このあと市長からあいさつと PFI 事業についての考えなどをお話させていただきます。その後配布資料により、事務局から PFI 事業の現状についてご説明させていただきます。そして市長との意見交換会のお時間を取りたいと思います。意見交換会の途中で、予定では午後 7 時 20 分ごろ一旦 10 分ぐらいの休憩を取りたいと思います。この時間を使い、自分から挙手はしないが意見がある方はお配りしましたアンケート用紙、自由意見欄に意見などを記入していただき、事務局が回収しますので、提出していただければ意見交換再開後、事務局で整理できましたら、アンケートの自由意見欄を紹介する時間を取り、市長みずから読み上げさせていただきます。その時間で提出されない方は、意見交換会終了後、お帰りの際、出口で回収させていただきます。

質問の回答を希望される方、お名前と連絡先を記入していただければ、ご連絡させていただきます。皆様との意見交換会のお時間は、案内では午後 8 時とさせていただいておりますが、若干の延長も考えております。最後に事務局より事務連絡を申し上げて閉会したいと思います。ご協力をお願い致します。

なお、記録用として、意見交換会の音声録音と 写真撮影をさせていただき、意見交換会記録は 準備出来次第、公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、市長、よろしくお願いいたします。

○市長

こんばんは。市長の中村健でございます。本日は平日の夜間にも関わらず、本当に多くの方々にご出席いただきましてありがとうございます。先日寺津校区の市政懇談会を行わせていただいたんですけども、今回こうした会を企画させていただいた主旨といたしまして、PFI という言葉を耳にした方も多くいらっしゃるかと思いますけども、要は公共施設をですれ統廃合していこうというなかで、その具体的な手法として、PFI という民間のノウハウですとか資金を活かした方法を用いてすすめていこうとなったなかで、具体的には市営住宅とか体育館とかプールとかたくさんものを作るという事業

になるわけですが、これまで市が進めてきた一連の過程の中で、私自身は市民の皆さんとの対話が不十分なまま進められて来たと感じてきておりまして、それを市長選挙の中でもそう訴えてきたなかで、今回一部のものを除いて工事をいったん中止をしてもらったなかで、しっかりと市民の皆様の声を丁寧に聞いて、それを反映させたいと、見直し案を作っていくという趣旨で企画をさせていただきました。この寺津地区におきましては、よく話題になるのが学校の敷地内に作ろうとしているのが民間機能を持ったプールなんですけれども、それ以外にもいくつか事業がございまして、また後程説明はさせていただきますが、今回のこの意見交換会においては当然寺津地区にお住まいの方々が多くご参加いただいていると思いますので、その寺津地区に予定されております事業についてのご意見とかご質問でも当然結構なんですけど、それ以外の一色とか吉良地区のものでも結構ですし、今回西尾市が行おうとしております、その西尾市方式と呼ばれる PFI 事業全般についてのご意見でも結構でございますので、ご参加いただいている皆様方としっかりと腹を割ってといいますか、率直に意見交換をさせていただいて、それを反映させていきたいと思っておりますので、特定の者に対して賛成とか反対とかそうしたご意見はいろいろあるとは思いますが、どんな意見においてもこの場においては尊重させていただいて、こちらとしてもしっかりと聞かせていただくという姿勢でおりますので、本日は有意義な意見交換になることを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

○司会

続きまして、PFI 事業の現状について、PFI 事業検証室より、ご説明いたします。本日配布させていただきました資料につきましては、過去の説明会で配布させていただきました資料をもとに、作成しております。それでは、よろしくお願いいたします。

○事務局

企画政策課 PFI 事業検証室の加藤と申します。着座にて説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは PFI 事業の現状について、事務局より、ご説明申し上げます。なお、本日は、市民の皆様からのご意見をたくさん出していただき、市長がそれに答える時間をできる限り多く設けていきたいと考えておりますので、現状の説明については簡潔かつ要点に絞って行うことをお許しください。

では、お手元の配布資料の 2 ページをご覧ください。「1 西尾市の公共施設再配置の歩み」についてであります。ここには、西尾市が旧幡豆郡三町と合併をした平成 23 年度から取り組んでまいりました公共施設再配置の歩みが記載されています。公共施設再配置は将来の人口規模、財政規模に応じて、合併により増加した公共施設の総量を圧縮していくという取り組みでありまして、西尾市のみならず全国の自治体においても行政課題として取り組んでいるものであります。

次に資料の 3 ページをご覧ください。「2 西尾市方式 PFI 事業の歩み」についてであります。ここには、平成 25 年度に策定した『西尾市公共施設再配置実施計画』で示した 5 つの再配置プロジェクトを 26 年度末に PFI 事業で発注して、27 年度中に事業者選定を行い、28 年度に事業契約を締結し、現在に至るまでの経過が記載されています。

次に資料の 5 ページをご覧ください。「3 西尾市方式 PFI 事業の検証の動き」についてであります。ここには、中村市長就任後の PFI 事業の検証経過について記載されています。主な動きとしては、8 月

10日に市長直属のPFI事業検証プロジェクトチームを設置し、PFI事業の契約相手である特別目的会社(株)エリアプラン西尾に対して、PFI事業の一時中止を求める文書を通知しました。8月23日には、SPCをはじめ関係事業者の説明会を開催し、9月19日には、PFI事業の凍結・見直しに向けてSPCと初めて協議を行いました。10月1日には、PFI事業検証プロジェクトチームを廃止し、企画政策課内にPFI事業検証室を設置しました。10月27日に資料6ページの内容をSPCに対応を求めています。現在は、弁護士に西尾市の代理人として委任し、SPCとの交渉を行っていただいています。

次に資料の7ページをご覧ください。「4 PFI事業（再配置プロジェクト）の概要」についてですが、ここから33ページまでは、PFI事業の計画概要が説明されています。大変申し訳ありませんが、本日は時間の都合上、この中で、寺津地区に関係する事業についてのみご説明申し上げますので、よろしくお願ひします。さて、西尾市では、現在保有するハコモノ約350施設のうち約4割を占める学校教育施設については、地域住民の皆様が歩いて行くことのできる拠点施設として、できる限り長く使用していく施設として位置付けています。そうした観点から、隣接している寺津小学校と寺津中学校の施設のコンパクト化を考えました。

資料の24ページをご覧ください。寺津温水プール（仮称）は、プールの一元化を計画した学校プール機能、老朽化が著しいため取壊しが計画されている一色B&G海洋センタープールの市民プール機能及びジュニアスイミングスクール機能を備えた施設であります。当初の計画では今年度に設計を行い、30年度に建設し、31年度に開館を予定しておりましたが、現在、基本設計完成目前で設計業務を停止しています。

この先は資料なしで説明させていただきます。寺津小中学校給食室は、小中学校にそれぞれある給食室を一元化する施設であります。建設場所は、現在の給食室とは違う位置で計画することにより、工事中でも給食供給をとめることがないように計画しています。衛生面に配慮したドライ方式とし、アレルギー専用調理室を計画しています。当初の計画では、平成31年度に設計、32年度に建設を予定しておりました。

寺津小中学校の改修工事として、施設内のトイレの洋便化、室内外のガラスの飛散防止対策、EVの改修などを計画しています。当初の計画では平成31年度に設計、32年度に改修工事を予定しておりました。以上で、PFI事業の現状についての説明とさせていただきます。

○司会

事務局の説明は終わりました。それでは市長との意見交換会を始めたいと思います。私から指名させていただきますので、ご要望、ご意見などあります方は、挙手をしていただき、お住いの地区名、お名前を名乗っていただいてから、お話をさせていただきますようお願いいたします。職員がマイクをお持ちしますので、それまで手を上げていただきますよう、お願いいたします。なお、より多くの方にご発言いただけるよう、要旨は簡潔にまとめ、ご発言いただきますよう、ご協力をお願いいたします。意見に対しての拍手はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。それでは、ご発言のある方、挙手をお願いいたします。

○市民

西尾に来て50年。私は九州生まれなんですけども、この寺津に44年住んでます。この寺津地区は非

常に絆が良くていい所であるし、私もいろいろお世話になっておりますので、さらなる発展をお願いしたいと思ってます。今日の意見は、今吉良地区と一色地区でいろんな意見が出てます。これのちょっとした感想ですね。これに対する批判はできないと思いますので。それと今の現状に対する質問をさせていただきたいと思います。それに対する意見と、寺津温水プール。これをいっしょにやってもいいですか。

○司会

ほかの方もありますので、できれば一度質問していただいて、またあとで良ければ質問していただければと思います。よろしいでしょうか。

○市民

はい。それでは今要領よくという話ですので、私は今よくわからない部分ですよ。これをちょっと質問させていただきます。今市長は10月20日臨時市議会ですか、ここで発言された内容ですね、「PFI事業については大幅な変更はできない。一部事業の変更・縮小を考えている」と新聞に載ってたんですけども、ここについては今はどんな感じですか。

○市長

ご質問ありがとうございます。新聞記事についてどうこうというコメントはちょっとあれなんですけども。こちらが意とした形で必ずしも記事として取り上げられるとは限らないことだけはお伝えしたいのと、今回工事をいったん中止したうえで、市民のみなさんの声をお聞きして見直しをしていきたい所に対して、一部がどうこうとか、全面・大幅なところがどうこうとか、取り除いた形で皆さんの意見を聞いて見直し案を作成していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○市民

微妙なとこなんで、まあそういうことだろうと思います。実際にはなかなかお答えできない、今の段階では難しいだろうと思います。それは理解しているんですけども、透明性とかいろんなことを市長さんがおっしゃってます。そうであれば丁寧に答えてもらうのが筋かなと思っています。それは思っているだけにします。西尾方式 PFI 事業について、私は、ここに資料がいっぱい入ってますけども、公共施設の再配置事業としては PFI は妥当ない方法だなと思っています。西尾方式をいろいろ言われる方もおりますけども、これはある意味進化系かなと思っています。やる以上は、職員の皆さん、前の市長さんが一生懸命になってこれを作られたと思うんですよ。ちゃんと手続きも踏んでますし、私は賛成だと思っています。

吉良・一色地区の感想を述べさせてもらいますと、全体的にいろいろな意見がいっぱい出ててよかったなと思っています。ただ、ちょっとやっぱり無責任で感情論の入った意見というが多かったように見受けれます。これは、どれがどれだということとはできないんで。ただ、率直な意見もいいんですけど、ちゃんと責任を持って意見を言うというのがいいのかなと思います。じゃないと・・・

○司会

申し訳ございませんが、また後程、簡潔にご意見ご質問をお願いしたいと思います。いったんちょっとここでよろしいでしょうか。

○市民

こんばんは。校区代表町内会としてご意見をしたいと思います。さきほど PFI の経過をもう少し言っていたら今後の動きの説明部分は、後になるのかちょっとわかりませんが、一応こういう形でというのがありました。12月1日号の広報の中に PFI 事業の経過・見通しが掲載されておりましたけども。公共施設再配置があり、その手法としての西尾市方式 PFI。これはあくまでも手法だと。手法というのは、これは皆さんご存知の通り第三セクタだの、指定管理者だとかありますけども、私はあえて施設もハコモノと言わせていただきたいと思いますが、このハコモノ整備こそが、最大の住民サービスと行政とわれわれ住民側とが勘違いしてきたのではないかなと思います。このままでいきますと維持管理費。先ほどの方もおっしゃってましたけども、改築費等で、維持管理ができなくなります。休館・中止も全国で多くの事例があります。先ほど市長の話でもありましたけども、統廃合あるいは複合化を進める、これは住民サービスの低下ではないと思っています。こういうのも聞きました「あれもこれもこの時代」ではなく「あれかこれか」。「選択と集中の時代だ」とこう言っておられます。全くその通りだと私も思っております。これが公共施設再配置であると思っております。今回のような意見交換会の場を、繰り返し情報を隠さず、住民に提示をする。話し合いをすれば住民側も理解ができるはずで、とりわけセクト主義になるかもしれませんが、寺津校区における公共施設再配置は具体的にどういう風だったのかというのをまず、一番基礎となる公共施設再配置は最初はどういう計画であったのか、どうすべきと考えていたのか、ということをお聞きしたい。これはもともとの再配置計画をお聞きしたいということで・・・以上です。

○司会

申し訳ありませんが、もう少し簡潔に、ここでいったん区切っていただいて。

○事務局

企画部次長の齋藤といいます。よろしくお願ひします。もともと寺津地区の公共施設再配置はどういう計画だったのかというご質問だったかと思ひます。先ほど説明させていただきました、小中学校のプールをまずは1つにしたい。それと給食室が2つありますので、これを1つにしたい。というのと合わせて小中学校の洋便器化がすすんでないところもありますので、これを洋便器化したい。それとガラスの飛散防止をしたい。あともう少し手を入れるところがあればしたいという考えでありました。以上です。

○市民

PFI の一部中止を賛成する意見です。1市3町合併というのは大きな偉業を成し遂げたわけですが、基本的には少子化だとか高齢化だとか経費の節約というところにスタンスがあったと思うんです。知らんどう間に一部の企業さんと大々的な契約を結び、それも長期の維持管理まで契約してると。非常に無謀

な動きをされているなという気がして、心配しております。私も 30 年先まで生きておりませんので、最後の姿を見られませんが、大きな借金を建物とかそういうもので残すんじゃなくて、ここで残すのは必要なものだけを、まず優先してやってもらいたい。さっきの給食の寺津の話も出ましたけども、こういうものは急いでやってもらいたい。

あと大きなマンション・アパートを作ったり、大きなプールを作ったり、そういう膨大な設備投資はもう少し慎重にやるべきだなというのが私の意見です。市議員の皆さんが、30 何名おられるかわかりませんが、賛成派と反対派が拮抗しているような気がします。だんだん反対派が増えているような気がします。市長が中止のほうにおられますので、そういう気がします。私はそれを賛成しております。

もう 1 つは市議員の皆さんも、取組みの中に委員構成に含まれると。たとえば建設委員会とか何とか委員会とかいっぱい作って、この方たちに会議をやらせて、その度に手当とか出してるんですね。出さないのであればよろしいです、結構です。市には優秀な職員の方たちがいっぱいおられますので、そういう方たちが真剣になってくださると、この PFI ももうちょっと生きてくるんじゃないかなと思います。以上です。

○市民

寺津小学校 P T A 役員なんですけれども。小中学校の給食室を 1 個にするっていうその理由を教えてくださいたいんですけれども。

○事務局

旧西尾市内の全部自校式ということで給食室が各校にあるんですけれども、小学校中学校が隣接しています。それぞれの給食室を維持管理するにはお金がかかりますので、だいぶ小学校側の給食室自体老朽化しておりますので、この際、作り変えるのであれば、小中学校一緒にしたほうがコスト的にいいんじゃないかということでの計画であります。

○市民

もしノロとか出た場合は、小中学校全部が食中毒が出たりする可能性が出てくると思うんですけど、今だったら小中学校別なので、どちらかがもし出た場合は、かたっぽだけで済むというのがあると思うんですけど、それはどういうふうに考えているんですかね。

○事務局

計画を立てた者がここにはおらず、詳しくないものですから、ここではちょっと答えられませんので、申し訳ありません。

○事務局

今日のアンケートにそれを書いていただいて、お答えはさせていただくということになっておりますので、住所とお名前を書いていただければ、今のご質問についてはこちらのほうで担当の職員に確認したうえで回答させていただくことになっておりますので、そちらのほうでご対応していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○市民

こんばんは。寺津中学校 PTA 会長です。よろしくお願ひします。今回の寺津地区として温水プールを中心とした PFI 事業につきまして、寺津小中学校 PTA の P としてご意見ご質問をさせていただきます。中村市長に変わられ、PFI 事業の凍結見直しを受けて、寺津小中学校の PTA 役員としても温水プールに対して考えをまとめ、理事の皆様にもアンケート形式で意見を聞かせていただきました。PTA の P としては、一番に子どもたちのことを考え、安心安全、素晴らしい学校のプールとして、現在のプールを改修修理を進めて欲しいという意見が多くございました。子どもたちの視点に立っていただいたご意見だと思っております。先日 27 日も市長からお話をいただきまして、保護者の皆様への説明・意見交換会を検討していく方向ではございます。ただ学校のプールという位置付けで、市として教育委員会として寺津小中学校を含めた市内の小中学校のプールを今後どうしていかしているのか、どういう風にしたいのかがよくわからないので、お考えをお聞かせいただきたいと思ひます。

もう 1 点は、給食室の新築整備について寺津小中学校では今食育に力を入れて、授業にもとり入れて頑張っていることを聞きます。子どもたちに栄養面だとか、アレルギー対応を踏まえて、温かくておいしい給食をこれからも提供していただきたいというふうに思っております。そのためには、衛生面、むこう何十年を考えて、校内に新しい給食室を建設して欲しいという意見でございます。よろしくお願ひいたします。

○市長

プールについてでありますけれども、方針は教育委員会の方で平成 28 年度あたりで決まっているようなんですけれども、私の意見といたしましては、将来的に全ての学校プールを残すのは、現実的に厳しいと思ひます。そうすると、全部が全部民間プールを利用するかは別として、例えばいくつかの学校で 1 つのプールでやるってことはあると思ひますし、そのなかで民間のプールを利用するっていうのも含めての統廃合が必要だと思ひます。ただ今の状況を見ると、その方針が地元の学校とか PTA の方々にしっかり説明がされないままに独り歩きしてしまっていて、保護者の方々に話をしても、「そういうことらしいけども、不安だ」ということで、まずはしっかりと説明をさせてもらって、理解を得ることが第一で、何よりも必要だと思ひます。当然学校プール残した方がいいか、廃止するのがいいかと言えば、残した方がいいってことになると思ひますけれども、もし仮に廃止になって民間プールを利用しますと。そうした時に保護者の方として不安な部分があると思うんですよね。そこはどうするんだとか。ここは大丈夫なのかって。そうした部分に対しては市としてこういったことでカバーしますよとかの対応まで含めて、しっかりと説明をしたうえで理解を得ないと、ただ単に合理性だけで学校プール難しいからってのは、進め方としては大変拙速というか、よろしくないと思ひますので、教育委員会に対しては、方針自体は反対はしていませんけども、まずは理解を得ることを第一にしてくださいと指示をしているところであります。

○事務局

私の方から給食室に対して、今当然小中学校の敷地内のどこかに給食室を作りたいと考えております。新しい給食室というのはドライ方式、今の給食室というのは給食の作業が終わったら床を水で流すという方式でやっております。これだと先程言われたとおり、食中毒だとかいろいろな病気を拾ってしまう

可能性がある。今考えているのは完全なドライ方式。ですので長靴をはくのではなく運動靴のようなもので作業をする。ということと、今の給食室ですと、こちらのスペースで野菜を刻む、こちらのスペースで野菜を煮る。と言うようなことをやってるんですけども、そういうことではなくて、完全に下処理室、それと調理室を完全に分けてしまう。雑菌だとか何かがうつらないように、そういうような給食室を目指しております。食の安全に対しては、今考える上級なレベルの給食室を目指しております。

○市民

私は先ほどの方と同じように、PFI は反対です。というのは事業参加表明が 1 社しかない。民間の見積もりから考えたら、私も設備の担当をやってましたけども、1 社だけで見積もりを取るというのは絶対にないです。相見積もりさせて、施設に合って一番安いところを選んでやるというのが民間の手法だと思います。1 社だけで 190 何億の契約を 20 年 30 年に渡って、契約するのというのは考えられないですね。ということでできれば、市長が言われたとおり、凍結とか中止をしていただきたい。うがった見方をしますと、失礼ですけども、契約された豊和さんというのは、前の市長さんと同業者ですよね。そういうのがあるんじゃないかという、うがった見方ができちゃうんですよね。こういう契約というのは公明正大にやっていただきたいと、そう思います。意見です。

○市民

こんばんは。小学校の PTA のものです。先程の給食室なんですけども、給食センターができるということを知っていますので、その給食センターに寺津の小学校中学校が含まれるのか。含まれなくて今のドライ方式の給食室を建てていただけるのかということをお聞きしたいと思います。

○事務局

今の給食センターっていうのは、教育委員会が考えているのは旧一色町・吉良町・幡豆町の分の給食センターを考えておりまして、寺津は寺津だけの給食室を考えております。

○市民

今回の PFI の中に、改修というところが含まれてますよね。工事の進め方に関してはいろいろあるかと思いますが、改修というものは、これからやらなければならないものというものを、ここで中止というような形にしとくと、延々になっていっちゃう。というのがありますので、やり方をちょっと検討してもらって、やるべきものは早くやるっていう姿勢でやってもらいたいと思いますので。そのところをよろしくお願いします。

○市民

先程中学校の PTA の方が私の質問の主旨に近いことをお話になっちゃったものですから、私も簡潔に話させていただきますけれども、寺津の温水プールができる時に、周辺の 7 校のプールを廃止することで、ちょっとびっくりされた方が多いと思ひまして、翌年に今の市長さんの出馬会見の時に、今年ですよね。「寺津にプールはいらない」と断言されて出馬会見に出られた時に、私はちょっとびっくりして、市役所の前の交差点の所に、辻立ちされてる市長さんに、まだ候補の時にですね、直接お話を聞いて

て、どうだったんだと、それはどういう真意なんだと聞いたら、「温水プールだけじゃなくて、小中学校の統合のプールもいらない」と断言されてたんですよね。将来的には学校のプールをすべてなくして、民間とホワイトウェブを使うんだ、という話だったものですから、これはすごい改革の仕方だなと思って。本当は今日はずっとそれを聞こうと思ってたんですよ。そうしたら今のプールの質問に関しては、検討をしていただき、周りの方の意見も聞いてということで、だいぶ市議員の時、あるいは市長候補の時から冷静になられたかなと思って、少し安心していたんですけども。いわゆる議員時代はどちらかと言うと PFI の問題点で寺津の温水プールはネガティブなイメージで言葉を持ってきたり、そういうことをされてたということもあったものですから、そういう部分の考え方というのは市長になった時点で、一旦クリアにして、改めて市長としてみんなの意見を聞いて話を進めていくんだという、そういう考え方をお持ちで、そういうことでよろしいでしょうか。

○市長

ご質問ありがとうございます。市役所のところの交差点でお話をさせていただいたのは、覚えています。その時僕が何を言ったかまでは正直覚えていないんですが、学校プールを民間の方についていうことの教育委員会の方針に対して、反対しないというか、その考えは自分もそうせざるを得ないというのを言ったような気がします。考え方が変わったとは正直思っていないで、全部が全部学校プールを残していくのが、財政的に厳しいという認識は、選挙前も選挙後も同じですし、そうした中で民間プールを使うということは一つの選択肢として、有効な方法だということも選挙前も選挙後も認識があったと僕は思っていますので。先程も申し上げたとおり、それをする前提というのは、しっかりと関係者の皆様に説明をして理解を得ることが大事だということも変わらないつもりでありますので、よろしく願いしたいということです。

○市民

コミュニティ推進協議会の会長です。黙っていようかと思っていましたが、疑問を残して帰るのもと思まして。1市3町が合併をされて、合併の大きな目的の一つは、スリム化した市政をすすめるということですよね。ですからいろんなハコモノ施設やなんかを統廃合してスリム化していくというものもあると思うんで、民間に任せられるところは民間に委ねていくという姿勢が、国のレベルもそうだと思います。そこで私が疑問に思っているのが、具体的に言うと温水プールを寺津に作るという話をすると、寺津の人にとっては何ら悪い話では無いんですけども、オール西尾市を考えた時に、スリム化していくという姿勢のなかで、2つのプールを合併すること、ここは良しとして、温水化するということがどこから出てきて、ランニングコストがどうなっているのか、スリム化がスリム化にならないんじゃないかなということをおもうんですね。学校のプールが学校にあることはとてもいいんだけど、カリキュラムがどれくらいあって、プールが使われているかということを見ると、稼働率は非常に低いですね。学校としてはね。そうすると温水の部分のランニングコストはどこがどうもつか、どれだけお客があるか、そこらへんを本当にどう考えられて、温水化まで持ってきたのか。勢いで温水化になってしまったんじゃないかな、という気が若干しないわけではないです。西尾市に温水プール持ってるところはいくつあるかというのと3・4箇所ありますよね。民間で。そういう部分は委ねていけばいいんじゃないかなと私は思うんですね。そういうことも含めて、なぜ寺津の中学校小学校のプールを合併するか、これはい

いとして、温水化になってしまったのか。その時に、将来的にその温水プールが維持できるのか、そういうことと民間のプールを利用することを考えたらどうなのかというのが一つ。それから西尾市というのはかつて市役所を作る時に、先々代の市長さんが設計された形を次の市長さんが、全部ひっくり返して設計何億というのをムダにして新しい建物を作られましたよね。でも結果的にそれが良かったならそういう形もありということで、PFI でいくらかの、聞き方がまずかったから修正して損失を出すけれども、後世のことを考えると OK だったら、それはあえてやるべきだと私は思っておるわけですね。質問事項としては、なぜ温水化の発想が出てきたのか、合併は 2 つだけの学校で良いのか、近隣の学校をもってくるという考え方はあるのか。そこら辺も含めてお答えいただけると、私の頭の中では解決ができるんですけども。

○事務局

PFI 事業検証室主幹の築瀬でございます。今 2 つのご質問をいただいております。一つは寺津に温水プールができる経緯。それからランニングコストについて検証されているのかというプールに関するものが一つと。もう一つは学校プールを統合するというのが、現在寺津だけなのか、他にもいろいろあるのか、そういう主旨のご質問でよろしいですかね。寺津の温水プールというのはそもそも、PFI の事業者を募集する時に、業務要求水準書という「市はこういうものを業者をお願いしたいんですよ」という文書を公表してます。その中に、もともと寺津小中学校に関しては、小中学校のプールを一元化してください、というようなものが入ってました。それに関係するのが、一色に今あります B&G 海洋センタープール。ここが老朽化しております。ここが基本的には解体ということになっておったんですが、ただランニングコストが安くなると、近隣の小中学校の中のプールが統合した結果、兼用で安くなるのであれば温水プールを作るということもやぶさかではない、そういうような仕様になっておったわけですね。そのなかで、業者の方が、寺津の小中学校のプールの一元化に温水プールを加えて、さらにこれを市民に開放すれば、その近隣の小中学校のプールの建設コストと B&G 海洋センタープールのランニングコスト、それらのものをトータル的に比較すると、寺津の温水プールの方が安くなるという計算をして、市に提案してきたわけです。これでいかがですかと。それを市が良い提案ですねということで採用したというのが寺津に温水プールができるという経緯になっております。じゃあこのランニングコストが今後、当初の提案どおりにいいのかどうか、近隣の小中学校のプールがどういうふうになるのかと、本当に廃止してしまうのかと、言うようなことも含めて、ただ今我々検証室の方で検証を進めているという状況でありますので、その結果がまとまるまではしばらくお待ちいただくということになります。

それから市内の小中学校のプールについては、先程から出ているように、基本的な考え方としては、老朽化したら建て替えは原則行わないでいきたい。近隣の先程出ました温水プール、民間のものも含めて活用できるものは活用していったらどうだろうかというのが基本的な教育委員会の考え方としてあるんですけども、先程から市長が説明しているとおり、保護者の方ですとか先生方、教育委員会の関係者に十分な説明がまだなされていないという状況ですので、そういった理解・コンセンサスが得られていないなかで一方的に進めていくのはいかがなものかというのが市長の考え方でございますので、それらを今後きちんと徹底させていくということをして市長が教育委員会に指示を出しているという、そういうような状況で、ちょっと長くなりましたけれども、また何か質問がありましたらお願いします。

○市民

寺津の温水プールと一色の B&G のプール、そして小学校 4 校のプールと密接に関係がありますので、今日は寺津の皆さん方のご意見をいろいろお聞かせ願いたいと思ってやってきました。今担当の築瀬さんのご説明で B&G のプールが当初から解体ありきのご説明がありましたけれども、これは間違いです。合併の時に一市三町合併の協定書には、一色の教育施設は維持すると、確かに古くなってきましたので改修するの必要はありますが、たまたま解体ということになったのは、寺津に業者が温水プールを作ると、こういう提案をしてきた時点で、それじゃあ一色の B&G のプールは解体だと。こういうことになったと私は理解しております。合併の時の協定書をよく読んで下さい。平成 22 年ですかね、23 年から合併したわけですので。したがって寺津の温水プールというのは業者提案です。先程から再三説明がありましたけれども、市の業務要求水準は小中学校のプールを 2 つを 1 つにすると、こういうことから始まったわけですが、私ども一色の B&G プールはスポーツクラブいっしきが市から委託を受けて管理しております。料金も非常に安いんです。寺津に仮に業者が温水プールを作られる。もちろん小中学生優先に使いますが、空いとる時はすべて業者が市民プールとして利用するということを言っておりますが、その折に業者はこういうことをいいましたよ。「地図のうえでコンパスを回したら B&G はまわりが海ばっかだから、寺津のほうが周りに人間がたくさんおって市民プールにするには適当だ」と。こういう説明でした。しかし、先ほど来 PTA の役員さん、町内会長さん、申してみえますが学校内に市民プールを作ると、あそこ本当に進入道路も狭いです。急坂で、しかも業者が言ってるとおり、一色の小学校 4 校の児童を送迎するにはマイクロバスがたくさんいますよ。駐車場もいます。小学校の校庭にロータリーを作ってマイクロバスを回さないと、とても一色の 4 校の小中学生を受け入れるには非常に難しい。寺津の小中学校の生徒にも、危険が及ぶと私は当初から考えております。B&G のプールはですね、解体が決まっちゃったわけじゃないんです。これだけは申し上げます。あそこは古くなってきたから、建て替えるんだったら B&G のところが駐車場もたくさんあります。経費も安く上がります。もう一つ言わせてもらおうと寺津の温水プールは 5 億 5 千万の予算がついておりますけれども、新在家にドルフィンという民間のプールがあります。ここは駐車場が 115 台。マイクロバスの駐車場 3 台。ロータリー方式です。それで 25m プール 6 コース。2 階から観覧席あります。業者が提案しとるほぼ同じような施設を 2 億 9 千万で作ってるんですよ。ドルフィン。調べてください。5 億 5 千万は高すぎます。以上です。

○司会

それでは最初にご案内したとおり、ここで休憩を取りたいと思います。その間を利用して、ここでは手を上げて発言はしないが、私の意見を述べて欲しいという方ありましたら、この場で書いていただいて事務局まで提出してください。特にここではという方は結構ですので、よろしくお願いたします。あちらの右手の時計で午後 7 時 40 分くらいまで休憩を取りたいと思いますので、よろしくお願いたします。以上です。

(10 分間休憩)

○司会

それでは、これから回収させていただきましたアンケートの方を市長から読み上げていただきご紹介さ

せていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○市長

たくさんのご意見ありがとうございました。この場を借りて読み上げながら紹介をさせていただきたいと思います。

(以下、市長読み上げ)

意見 1

一般市民は現在の状況と以降の動向に大きな不安を感じています。自分の住む西尾市の政治が安定しない限り、日々の暮らしが落ち着きません。市民が納得する「落としどころ」で早期決着をお願いしたい。

意見 2

PFI に賛成の意見を聞きたい。

意見 3

寺津の学校敷地内にプールを作るのはやめてください。道路も狭く子どもの通学が心配です。市民との供用で児童の安全がおびやかされます。一色の支所は利用できる間は使ってください。

意見 4

市長選で中村市長が当選し、PFI 反対中止の民意を反映してもらいたい。市民にわかりやすく説明し理解を得ること。

意見 5

市長は PFI、PFI と言いますが、PFI は手法であって、目的ではないと思います。公共施設の再配置が目的だと思います。公共施設の総量を減らすことが、西尾市の財政に必要なことと思いますが、市長はどのようにお考えですか。市民に対して厳しいお願いをすることが西尾市の将来にとって必要であって若い市長だからできることではないでしょうか？

意見 6

既に議会で決まったことをくつがえしてしまい、どの段階でどういう方法で誰が判断し方針を決めるのか。

意見 7

PFI 絶対反対。寺津の市民プール化反対。徳永町のファミマの東に市民プールをつくれればいいのでは？

意見 8

小中学校のプールの全面廃止は反対です。今の子供達はただでさえ運動面で能力が低下しているのに、これ以上減らしてほしくない。民間 3 つでは全小・中学校のプールの授業はまかなえないと思います。

移動時間の問題。授業とのかねあいなど、かなり無理があると思う。

意見 9

PFI 事業をすすめるについては市民の意見を聞き、説明を行い進めてください。私は基本的には PFI は反対です。優秀な市職員を使って市の事業として進めてください。

意見 10

PFI に賛成した議員の方々の考えをしっかりと聞きたい。市長選の民意に対してどう思うか？

意見 11

改修施設分は全体の案件とはべつに進めるべきであると考えます。

意見 12

PFI 事業として成功している地域、失敗している地域の例を知りたい。西尾市方式にこだわらず有効な民間資本の方向性はないのか。

意見 13

吉良支所棟フィットネスはいらぬ。作ってしまったからといって市民の望まないものを業者がやりたいう事で作ってはいけない。1回 1,000 円もかかるフィットネスは一部の人にしか使えない。

意見 14

PFI 事業見直しは賛成です。しっかりと検討して将来に負の遺産を残さないように。

意見 15

エリアプランに西尾市政をのっとられている。市長さんの言葉使いにご留意を。

意見 16

PFI は全停止ではなく、見直しを縮小継続してもらいたい。温水プールは是非作って欲しい。一色は優遇されている。寺津に温水プールの公共施設がほしい。計画通り東から入場 25 台くらい駐車出来る、安全安心な施設を駐車場にそって作る。

○司会

それでは、再度意見交換会の方へ切り替えさせていただきます。ご意見がある方は、挙手をして発言をお願いします。

○市民

プールについて意見を言いたいと思います。寺津のプールは今 52 年経っている。そういうことを鑑みて、早急に検討して作って欲しい。学校の施設として学校機能を最優先にしていきたい。場所は今

の敷地内で十分です。フェンスなどをしっかりやれば全然問題ない。道が狭いことについては、道は広げればいいし、入るところも歩道を作ればいいんですよ。学校の標高は 6.6m であり、道路の高さは 3m、先ほど話のあった田んぼでは高さは 0.6m です。これは、とてもじゃないけどやれないと思います。学校の校庭を減らすのはやめてほしい。でも今学校の敷地内に 40 台は駐車場ができると聞いています。子供のことを優先的に考えて欲しい。それともう一つ、町内会長会とかで要望をやっていますが、これは町内会長 27 名の意見であって、寺津校区の住民の総意ではない。

○市民

再配置計画は元々どういう計画だったのか。小中学校のプールを統合していく。再配置計画の中でプールをつくる計画はあったでしょうか。どういうふうに変化をしていたのかをお聞きしたかったまであります。もう 1 点、12 月 1 日号の広報で旧一色支所の劣化度調査の中で「長寿命化が難しい施設」とはどういうこと。今まで使っていた施設であります。何が難しいのか。広報を読んだだけでは読み取れなかったが。合併時に耐震改修をやっていたかと思うが。事務所として使用できるかどうかであり、コンクリート強度は当初どういう設計だったのか。

○事務局

元々は、今ある公共施設の寿命について、調査をした上で、長寿命化を図れるものは図る。重複している施設については統合していくというのが再配置計画のスタートであった。このままでは多くの公共施設を維持管理できないというのが基本にあった。小中学校のプールは当初入っていなかったと思われませんが、どのように再配置計画が最初作られ、そこに PFI という手法で行うことになり、そして今契約を交わした後に検証するという流れになっている。その過程も含めて現在検証しているところであります。ご質問に対しては検証結果の中で触れられると思います。

○事務局

一色支所の劣化度調査を行いまして、長寿命化が難しいという書き方をさせていただきました。先ほどお金をかければというお話がありましたが、そのとおりにお金をかければなんとかなるだろうと思います。ただ実際に鉄筋が錆びている状態はどうしようもないということから難しいという表現をさせていただきました。当初の設計基準強度は 21 ニュートン平方ミリメートルです。

○市民

公共施設再配置というのは必要ということで進められてきたと思いますが、これが PFI になったことでおかしな方向に行ってしまったのではないかと思います。特に独立採算事業、吉良でいうフィットネス 1 回 1,000 円かかる、これは普通の市民にはなかなか使えないようなもの、他にもサッカースクールやテニススクールは 1 月に 5,000 円かかる。これを市民サービスでやるということ自体が非常におかしなことじゃないかと思う。温水プールについても 1 月 5,000 円するようなものを市民の税金を使って建物を建てるというのは、それを業者さんが使うという、税金の使い方として非常におかしなことだと思います。公共再配置の住民の願いと企業さんの思惑が色々入ってきたことによって、それでおかしな方向にいったのではないかと思います。この際、そういうものは白紙に戻していただいて、市民が本当

に望むものにするために、最初のスタート地点に戻していただきたいと思っています。

○市民

各論ではなくて、そもそも PFI というものの内容がよく分からない。PFI をやった場合とやらない場合の差がどこにあるのかを教えてください。

○事務局

PFI 事業の内容につきましては、お配りしています資料の中で触れています。解体する施設、改修する施設、新しく統合する施設、既存の公共施設の維持管理・運営を複合的に民間にお願いするというものであります。包括的に長期に渡って 1 つの事業体をお願いしていくという事業が PFI 事業です。その中でみなさんが賛成反対と言われるのは、例えば 160 施設を 15 年間一括して 1 者に委ねているのがいいのか悪いのか、学校の敷地内に温水プールを作って市民に開放しながら、学校の授業にも使いますよというのがいいのか悪いのかという賛成反対になってきているのが現在の PFI 事業を論議になっているところでございます。2 つのご質問のやった場合とやらなかった場合との差というのは、どのような趣旨で答えましたらよろしいでしょうか。

○市民

金銭的についてです。

○事務局

例えば、一色支所の跡地に計画されている市営住宅は、建てるのに 19 億円程かかります。市としては市営住宅はどこかには欲しいと思っています。ただ今議論になっている一色支所を解体しないということになれば、跡地が無くなりますのでそこに市営住宅は作れないことになります。市営住宅をどこかに作ればそのお金が必要になりますので、その差引でいくらになるかというのは 1 つずつ計算してみないと分かりません。従って 1 つの施設をそのまま作るのか、それとも市民の要望を受け入れた形で作るのかによってもいくらになるか変わってきますし、全く作らないということであればその分は浮くが、市民にはそういった行政サービスが提供できなくなるデメリットもでてきます。それらをどのようにしていくのかというのを決めるために、みなさまからこうして意見を聞くことをしています。ただ市がどれだけのお金が使えるかという意見もありますので、それらを総合的に市長などが議会で判断していただくことになります。現時点では、いくら高くなるか、いくら安くなるかということは申し上げられないということをご理解いただきたいと思います。

○市民

寺津地区に最近、色んな資料がポスティングされています。その中に事業者であるエリアプラン西尾が市の申し入れに対してなかなか話し合いに応じないということが書いてありますが、今の時点で相手は話し合いに応じる姿勢をみせているのですか。

○事務局

話し合いをしていこうということで、現在そういったことはやっています。これから協議を本格的にやっていければいいと思っています。全く話し合いができないということはありません。

○市民

今はまだできていないのですか。

○事務局

全くできていないということではない。市としての要望がまだまとまっていない段階であるので十分な協議というところまでは至っていない。ただ吉良の支所棟については進んでいますので、今後具体的にどういう段階で止めて下さい、という話し合いをしていこうと考えております。

○市民

最近ポストイングが多い。無責任な意見がいっぱい書いてあるので、ここにおられる先生方、新聞社の方に公正な報道をお願いしたい。11月16日号で市議会だよりがでた。2ヵ月かかっているのは遅いので早く正確な情報を市民に流していただくことをお願いしたい。

○事務局

最後に訂正を1点させてください。寺津小中学校のプールの問題については、再配置計画の実施計画の中に盛り込まれているということでした。小中学校の一元化が載っています。

○司会

それでは予定の時間も過ぎましたので、市長の方からお礼の言葉を申し上げます。

○市長

本日は長時間に渡りまして、ありがとうございます。色んな方から率直な意見をお聴きすることができましたが、今回だけで十分とは思ってなくて、これだけ大人数でなくても10人20の方がもっと深く話ができるということもありますので、寺津地区の意見交換会は今回ということですが、例えばお一人でも市長室を訪ねていただいても結構ですし、配布資料裏のPFI事業検証室というところが窓口となっていますので、そちらの連絡先まで連絡頂いて日程調整させていただいた上で、伺わせていただきたいと思います。いずれにしましても、色んな方の色んな意見をお聴きする中で行政として意思決定していくことが政治の基本と考えております。今日に限らず、またこういった場をつくった際には、是非ご参加頂いて色んな意見をお聞かせいただければと思います。本日は、ありがとうございます。

○司会

最後に事務局からご連絡をします。アンケートをまだお持ちの方は、お帰りの際、回収箱の方にお入れください。これを持ちまして「市長と語る意見交換会」を閉会いたします。交通安全にご留意いただき、気をつけてお帰りください。本日はどうもありがとうございました。

※個人情報等の都合上、表現を一部修正しています。